



慈光

第96号

平成30年3月



編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園
慈光園デイサービスセンター
慈光園中央デイサービスセンター
在宅介護支援センター慈光園
慈光園ホームヘルプステーション
ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://www2.jan.ne.jp/~jikouen1/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



平成三十年度の展望と期待

長井福祉会理事長 豊野 充

「団塊の世代」と言われる人たちがすべて七十五歳以上の後期高齢者になり、医療・介護が大変になるという「二〇二五年問題」がもうすぐ迫っています。厚生労働省は在宅介護の支援と介護施設の充実を図る施策を発表しました。

地域包括ケアシステムの強化のために、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、必要なサービスが提供されるようにする、というものです。また介護保険制度を持続可能にするために二割負担者のうち特に所得の高い層の負担割合が三割になります。さらに高齢者がその有する能力に応じた自立した生活を送って頂くための取り組みを進めます。具体的にはリハビリ職と連携して効果的な介護予防を実施する、他職種が参加する地域ケア会議を活用してケアマネジメントを支援すること、などです。

介護施設に対しては、「日常的な医学管理が必要な重介護者の受け入れ」や「看取り・ターミナル」の機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた新たな介護保険施設を創設するとしています。

介護報酬は三年に一度見直されます。厚生労働省の新年度予算案では、報酬全体は〇・五四%引き上げられます。サービスでは身体機能の回復を目指す訓練に取り組み、六か月間で改善した利用者が多ければ報酬に加算されます。また特別養護老人ホームでは、おむつの交換時に排泄介助が必要な人に、介助がいらなくなるよう計画を立てて支援すれば報酬に加算されます。医療機関と連携して看取りの態勢を整えた場合の報酬も加算されます。さらに介護ロボットの利用も推奨されています。

慈光園では、もうすでに取り組みを始めている項目もあり、今後さらにより良い介護のために精進していく所存ですのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

長井福祉会

標語選考結果

長井福祉会の法人理念「敬意を込めた介護」について、今まで以上に福祉サービスの質向上を図るため、全職員より標語を募集いたしました。その中で最も優秀な作品をご紹介します。



敬う心 感謝の心で つながる信頼

特別養護老人ホーム慈光園
総務課長 情野 明美



笑顔でサービス ハートで介護

ウエルフェア慈光園
看護師 堀越 きよ



慈しむ 精神が光る 福祉の園

在宅介護支援センター慈光園
主任 青木 和志

認知症の研修について

長井福祉会では認知症ケア対策推進委員会を中心とし、職員個々の認知症介護スキルの向上を目指して認知症に関する園内研修会を開催してきました。

九月二十八日には、こぶし荘認知症高齢者グループホーム管理者であり、山形県認知症介護指導者の佐々木利典さんを外部講師としてお呼びし、「認知症介護の基本的理解」という題目でご講話を頂きました。言葉と行動だけを見るのではなく、その裏にある認知症利用者の思いや気持ちを理解することがよい介護につながると体験談を交えながら教えていただきました。「認知症の方のすべてを受け止める」という佐々木さんの熱いお話に、多くの職員が感動しました。







3/3 ひなまつり

長い間大変
ありがとうございました。

仁陽会もちつき

仁陽会の皆様より、慈光園の入居者やデイ利用者、そして職員へお餅を振る舞って頂きました。慈光園開園以来ご継続いただいた活動でしたが、今年度で最後となりました。長年のご厚意に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。



ケアハウス紹介

ケアハウスウエルフェア慈光園は、バリアフリーで住みよい住宅を提供し、入居者の自立と安心・安全に生活ができるよう支援する住宅です。満六十歳以上の方で、自炊が難しい方、一人での生活に不安がある方で、身の回りのことは自分でできる方が入居対象になります。介護が必要な場合ホームヘルパーや通所サービスなどの在宅サービスをご利用いただくことができます。全個室で、トイレ・洗面台・ミニキッチン・電磁調理器・ナースコール・クローゼット・タンスなどが完備されています。見晴らしの良い六階には、食堂・談話室・大浴場・図書館・家族室があります。各種イベントや行事では、新年会・夏祭り・映画鑑賞・輪投げ大会・食事ツアー・花見・芋煮会・バイキングなどで楽しんでいただいています。また、通院バス・買い物ツアー・喫茶店・カラオケ・体操教室も行っています。ケアハウス五十室のうち二十室は、特定施設入居者生活介護（要支援・要介護者対象居室）です。



編集後記

平成29年度の慈光も本号で最後となりました。今年度も地域の方やボランティアの方々からの支援により、ご利用者の皆様には楽しく安心した生活を送って頂くことができました。

来年度も様々な活動を掲載し皆様へお伝えしていきたいと思えます。また、ご利用者の「笑顔」のために職員一同精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。



編集委員

- ◎吉野 弘子 梅津 愛美
- 飯澤 亮平 成澤 浩子
- 渡部 彩香 鈴木 朝士
- 鈴木 由美 須貝 崇志
- 井上 由美 土屋 睦美
- 川井 梓